

教科リーダー育成講座（２年次） 実践のまとめ（第２学年 国語科）

妙高市立新井中学校
教諭 西脇 万葉

１ 研究テーマ

学び合い活動で思考力を深め、より主体的に課題解決を目指す生徒の育成

２ 研究テーマについて

（１）テーマ設定の意図

学習指導要領（平成29年告示）では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを国語科の目標としている。つまり、言葉に着目して知識及び技能を使いながら思考・判断・表現等を行うこと、生徒自身が単元全体を通して学習のゴールを意識し、そのゴールに向かって言葉を根拠とした意見の交流をすることが、授業における国語科的活動であると考え。また、ここでいう言葉の中には、教材（本文）に出てきている言葉のみならず、それを根拠として行われる意見交流・活動の中で、生徒達が発した・使った言葉も含まれていると考える。

これまでの授業を振り返ると、生徒同士の意見交流の場や機会は設定してきたものの、意見を伝え合う場や機会にとどまることが多々あった。意見交流で仲間の意見を聞き、新たな考え方を知ることによって自らの思考力が「広がり」はしたものの、「深まり」はしていない生徒が多かったように思われる。また、多くの生徒が自ら進んで課題解決をしようとしていたが、自分の意見に自信がもてず、なかなか積極的に意見交流や課題と向き合えていない生徒もいた。

さらに、当校は「確かな学力を活用し課題を解決しようと主体的に学べる」「自他を理解し多様な他者と協働的・対話的に学べる」生徒の育成を目指している。この点も踏まえ、思考力が広がるだけでなく、深まるような学び合いを授業に取り入れ、より主体的に課題を解決したいと思える生徒を育成するため、上記テーマを設定した。

（２）研究テーマに迫るために

① 学び合い活動の充実、工夫

生徒が自らの意見を仲間に伝え、仲間の意見を聞く学び合い活動を、継続的に授業に取り入れる。また、互いの意見を聞くのみの活動ではなく、「仲間の意見を聞き、自分はどうか考えたか」まで思考を深められる学び合い活動にするため、以下の工夫をする。

- | |
|--------------------------|
| ア 根拠と理由を明確にして、意見を述べさせる。 |
| イ 仲間の意見を聞いて、自分の意見を再考させる。 |

上記アの工夫により、生徒は自らの意見をより自信をもって仲間に伝えられるようになる。また、イの工夫により、仲間との交流の中で自分の思考が深まっていくことの面白さを感じることができると考える。ア・イの工夫により、主体的に課題に取り組む姿勢が多く見られるようになる。と考える。

② 学習課題の工夫

教師から一方的に与えられた「～しよう」型の課題では、主体的な課題解決の姿勢が見られにくいのではないかと感じた。そこで、課題を「～？」で終わるような問いかけ型にする。これにより、生徒が興味・関心をもちながら、主体的に課題に取り組めると考え

る。また、授業の結末時に課題に対する考えが明確になったり、授業内で課題に対して自分なりの答えを出せたりすれば、生徒自身が納得感や達成感を得られ、より前向きに学習に取り組むようになると考える。

③ ワークシートの工夫

生徒が根拠と理由を明確にした上で自らの意見をまとめ、仲間に分かりやすく発表できるよう、色分けした表をワークシートとして用いる。また、仲間の意見と比べながら自らの意見を再考できるよう、自分と仲間の意見を可視化し、比較しながらまとめられるワークシートを作成する。

(3) 研究テーマに関わる評価

- ① ワークシートや振り返りシートに、学び合い活動により思考が深まったことが読み取れる記述をする生徒が増える。
- ② 学び合い活動について、生徒の授業アンケートで肯定的評価が増える。

3 単元と評価規準

(1) 単元名

人間のきずな／盆土産（中学校国語2 光村図書）

(2) 単元（題材）の目標

- ① 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【知識及び技能】（1）エ
- ② 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。【思考力、判断力、表現力等】C（1）イ
- ③ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力、人間性等】

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（1）エ	「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C（1）イ	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。

4 本時の展開（令和6年10月8日～令和6年10月10日実施）

本単元は、全8時間で実施した。1～5時間目において内容把握と登場人物の言動や心情の確認を行い、その後の6～8時間目を本時とした。以下が、各時間の提案である。

6時間目：根拠・理由を明確にすることで、自分の意見に説得力をもたせる ～「盆土産」はどんな物語か、自分の言葉で表現する活動～
7時間目：共通点や違いに着目することで、自らの考え方を広げたり深めたりする ～仲間の意見を聞き、自分と仲間の考え方の違いに気付く活動～
8時間目：作品の良さを、表現の工夫から読み解く ～比べ読みをすることで表現の工夫に気付き、作品の魅力に迫る活動～

各時間を、自らの意見を構築する時間、その意見を仲間に伝え、仲間の意見を聞いた上で自らの意見を深める時間、比較するスキルと根拠を基に意見を導き出すスキルを活用しながら、作品の良さを再確認する時間とした。以下に、各時間の略案を示す。

第2学年5組国語科学習指導案（6時間目）

令和6年10月8日第2校時
指導者 妙高市立新井中学校
教諭 西脇 万葉

本時の提案

根拠・理由を明確にすることで、自分の意見に説得力をもたせる
～ 「盆土産」はどんな物語か、自分の言葉で表現する活動 ～

1 単元名（題材名・主題名）

人間のきずな（盆土産）

2 本時

(1) ねらい

根拠・理由を明確にして、自分の意見を、自分の言葉で表現する。

(2) 展開

時間 (分)	・学習活動	◎教師の働き掛け ●予想される生徒の反応	□評価 ◇留意点
導入 5	・前時までの復習をする。 ・学習課題と、学習の流れの確認をする。	◎最初の授業で、「盆土産」をどんな形容詞で表現したか、確認させる。 ◎復習内容が本時の学習にどのように関わっていくかを説明する。	□ 態度 前時までの学習内容を確認している。【行動観察】 ◇学習課題と学習の流れを板書しておく。
「盆土産」って、どんなお話？ ～根拠・理由を明確にして、自分の言葉で、表現しよう～			
展開 ① 10	・意見の導き出し方やワークシートの書き方を、「アイスプラネット」を例に説明する。	◎自分の意見に説得力をもたせるためには、根拠と理由が結び付いていることが大切だと示す。 ◎根拠の見付け方、理由の書き方を説明する。	□ 態度 意見の導き出し方やワークシートの書き方をしっかり確認している。【行動観察】
展開 ② 30	・「『盆土産』って、〇〇、△△お話！」の形で自分の意見をまとめられるよう、根拠と理由をワークシートに記入する。	◎根拠はしっかり本文から見付け出すよう、声掛けをする。 ◎書きづらそうな生徒には、適宜声掛けをする。 ●「父っちゃんのこのセリフから…」 ●「この場面が切ない理由は…」	□ 思・判・表 根拠と理由を明確にしながら、自分の意見を書いている。【ワークシート】
まとめ 5	・本時の振り返りをする。	◎進捗状況を確認する。 ◎次回の学習内容の予告をする。 ◎終わっていない生徒は、宿題でやってくるよう伝える。	□ 態度 本時の学習を振り返り、次の学びにつなげようとする姿勢が見られる。【振り返りシート】

(3) 評価

根拠・理由を明確にして、自分の意見を、自分の言葉で書いている。【ワークシート】

第2学年5組国語科学習指導案（7時間目）

令和6年10月9日第2校時
指導者 妙高市立新井中学校
教諭 西脇 万葉

本時の提案

共通点や違いに着目することで、自らの考え方を広げたり深めたりする
～ 仲間の意見を聞き、自分と仲間の考え方の違いに気付く活動 ～

1 単元名（題材名・主題名）

人間のきずな（盆土産）

2 本時

(1) ねらい

仲間との意見交流を通し、考え方の同じ点（共通点）と違う点に気付くことで、自らの考え方を広げたり深めたりする。

(2) 展開

時間 (分)	・学習活動	◎教師の働き掛け ●予想される生徒の反応	□評価 ◇留意点
導入 5	・前時の復習をする。 ・学習課題と、学習の流れの確認をする。	◎ワークシートが完成しているかを確認をする。 ◎前時の学習内容と本時の学習内容がどのように関わっているかを説明する。	□ 態度 前時までの学習内容を確認している。【行動観察】 ◇学習課題と学習の流れを板書しておく。
どう違った？ どうして違った？ ～仲間の意見を聞き、共通点や違いに気付こう～			
展開 40	・ペアを作り、互いに発表し合う。 ・自分の考えを根拠と理由を示しながら相手に発表する。 ・相手の発表を聞き、メモをとる。 ・メモしたことを、相手に伝える。	◎自分との共通点、違う点等をしっかりメモしながら、相手の発表を聞くよう説明する。 ◎相手に自分の意見が分かりやすく伝わるよう、根拠→理由の順で話すよう説明する。 ◎メモしたことは相手に言葉で伝えるよう指示する。 ●「根拠は同じでも理由が違う」	□ 思・判・表 相手を納得させられるよう、ワークシートを活用しながら発表している。【行動観察】 □ 思・判・表 相手と自分の意見の共通点や違う点を見付け、メモできている。【ワークシート】
まとめ 5	・本時の振り返りをする。	◎本時の振り返りをさせる。 ◎次回の学習内容の予告をする。	□ 態度 本時の学習を振り返り、次の学びにつなげようとする姿勢が見られる。 【振り返りシート】

(3) 評価

- ・相手を納得させられるよう、ワークシートを活用し発表している。【行動観察】
- ・相手との交流の中で、自分の意見との共通点や違いに気付いている。【ワークシート】

第2学年5組国語科学習指導案（8時間目）

令和6年10月10日第2校時
指導者 妙高市立新井中学校
教諭 西脇 万葉

本時の提案

作品の良さを、表現の工夫から読み解く
～ 比べ読みをすることで表現の工夫に気づき、作品の魅力に迫る活動 ～

1 単元名（題材名・主題名）

人間のきずな（盆土産）

2 本時

(1) ねらい

作品に盛り込まれた表現の工夫とその良さに気づき、作品の魅力を再認識する。

(2) 展開

時間 (分)	・学習活動	◎教師の働き掛け ●予想される生徒の反応	□評価 ◇留意点
導入 5	・前時までの復習をする。 ・学習課題と、学習の流れの確認をする。	◎自分が「盆土産」をどんなお話と表現したか、そう表現したのはなぜかを確認する。 ◎どんな流れで取り組み、何ができると良いのかを説明する。	□ <u>態度</u> 前時までの学習内容を確認している。【行動観察】 ◇学習課題と学習の流れを板書しておく。
どんな工夫があった？どんな良さがあった？ ～「盆土産」の魅力を見よう～			
展開 ① 10	・オリジナルと変更版の最終場面を読み比べて表現の工夫を探し、全体で確認する。	◎オリジナルと変更版の比べ読みをしながら、三つの表現の工夫を探すよう伝える。 ●「オリジナルには方言があるけれど、変更版にはない。」	◇教師が作成した最終場面の変更版を、比べ読みに使用する。
展開 ② 10	・表現の工夫によってどんな良さがああるかを個人で考える。	◎変更版にはないオリジナルの良さを、三つの工夫から見付けるよう説明する。 ●「直接気持ちが書かれていないから、いろいろな想像ができる。」	□ <u>思・判・表</u> 三つの表現の工夫から、良さを見付けている。 【ワークシート】
展開 ③ 10	・個人で考えた良さを、班で共有する。	◎三人か四人班で、工夫ごとに良さをまとめるよう指示する。 ◎全員が発言するよう伝える。	□ <u>思・判・表</u> 工夫ごとに良さをまとめている。 【ホワイトボード】
展開 ④ 10	・班で出た意見を全体に発表する。	◎各班から出された意見を、工夫ごとに黒板に書き出す。 ◎出た意見をまとめる。	□ <u>思・判・表</u> 発表をしっかりとっている、聞いている。【行動観察】
まとめ 5	・本時の振り返りをする。	◎再発見した作品の良さを、自分の言葉でまとめるよう伝える。	□ <u>態度</u> 本時の学習を振り返り、次の学びにつなげようとする姿勢が見られる。 【振り返りシート】

(3) 評価

- ・比べ読みをして、作品の工夫と良さに気付いている。【ワークシート】【行動観察】
- ・作品の良さを共有できている。【ホワイトボード】【行動観察】
- ・作品の魅力を、自分の言葉でまとめることができている。【ワークシート】

5 実践を振り返って

(1) 授業の実際（指導の実際）

【6時間目】

- 意見の導き出し方やワークシートの書き方を、既習教材「アイスプラネット」を例にして説明することで、生徒達は概ねスムーズに学習活動に参加していた。
- 色分けした表を使うことで、根拠と理由に支えられた、説得力のある意見を構築できている生徒が多かった。
- 説得力のある意見を練り上げるために、本文を読み込んだり、一つ一つの言葉や表現から想像を広げたりしている生徒が多く見られた。
-

例① 根拠：隣の喜作が～腰には何連発かの細長い花火の筒を二本、刀のように差していた。

理由：喜作も、喜作の父が買ってきてくれた物を見せびらかすようにしていた。喜作も自分の父のことを大事にしているんだなと思った。

意見：「盆土産」って、いろんな人の愛情が詰まった面白いお話。

例② 根拠：…とびきりうまいものに違いない。父親の土産のうまさをよく味わうためにも…。

理由：少年が父のことを信じ切っているからこそ、いつもなら嫌なことでも「ためにも」と言ったり、「ちがいない」と断言をしたりすることができているから。

意見：「盆土産」って、愛がありすぎて、言葉や感情から愛があふれちゃっているお話。

- ▲多くの根拠・理由をまとめて意見にするのに、難しさを感じている生徒が見られた。
- ▲自分が感じたこと、表現したいことを、上手く言葉にまとめられない生徒もいた。語彙の少なさが感じられた。
- | | |
|-------|---|
| 相手の名前 | ★ |
| が | |

【 7 時間目 】

- ほとんどの生徒が、前時のワークシートを使いながらスムーズに意見交流していた。
- 仲間の意見をしっかり聞きながらワークシートにメモを取ることで、自分との比較が確実にできている生徒が多かった。
- ▲共通点と違いには気付いていたが、なぜそのような違いが出てきたのかを考えるのは少し難しいようだった。考える際の視点を、もう少し具体的に示せば良かった。

【8時間目】

- 変更版と比較することで、オリジナル作品の表現の工夫や、その良さに気付いている生徒が多かった。
- 個人の意見を班で共有する中で、新たな気づきや考えの言語化が生まれていた。
- 工夫や良さに気付くことで、作品の新たな魅力を感じていた生徒が多かった。
- 図2 自分と他人の意見を比較して工夫をしたワークシート

[illegible]

図 1 ワークシートの色分けした表

[illegible]

図2 自分と仲間の
意見を比較しやすい
工夫をしたワークシート

例① 言葉がないことでより複雑に感情を読み取ることができるし、読み手が自分の経験と重ね合わせて読むことができ、共感しやすいところ。

例② 方言を使うことで、優しく感じたり、温かく感じたりするところ。

(2) 研究テーマに関わって

研究結果に関する評価結果は、以下の通りである。

【振り返りシートの記述】

- 意見を聞いてみて、同じ根拠や考えをもっている、意見が全く違ったりして、考え方がおもしろかった。
- 大体みんなが同じような意見になるのかな？と思っていたけれど、たくさんの考えがあったり、同じ根拠でも違う理由だったりして面白かったです。
- 同じ根拠でも理由が違って、新しい考えがあった。全然違う意見だと、「あ〜」「確かに」となっておもしろかった。
- 一つの文を見て、それがポジティブな感情なのかネガティブな感情なのか、捉え方がたくさんあった。
- 自分の書いていないところ（根拠）でも、自分と同じような理由があった。
- 表現の仕方、例えばワクワクとか、愛情があるとか、そういうところが人と違ってきて、面白いなと思いました。

【授業アンケートの結果（29人が回答）】

- ① 自分の意見を、根拠・理由を明確にして、仲間に伝えられた。
5…10人 4…11人 3…5人 2…1人 1…2人
- ② 仲間の意見をしっかりと聞いた。
5…19人 4…8人 3…2人 2…0人 1…0人
- ③ 仲間の意見と自分の意見を比べ、共通点や違いに気付けた。
5…10人 4…12人 3…5人 2…2人 1…0人
- ④ 仲間と意見が違うのはなぜなのか、比べて考えることができた。
5…7人 4…8人 3…11人 2…2人 1…1人

振り返りシートの記述から分かるように、仲間との学び合い活動（意見交流）によって、思考の広がりや深まりが見られた生徒が多くいた。授業アンケートの項目①～③の結果のように、自分の意見を確実に構築した上での仲間との比較を伴う意見交流が、有効に働いたのだと考えられる。しかしながら、仲間との意見の違いがなぜ生まれているのかに関しては、授業アンケートの項目④の通り、なかなか考えが深まらなかった。違いが生まれる理由を考える際の視点を、もっと適切に示すべきだったと考えられる。

(3) 今後の課題

ワークシートや振り返りシートの記述、授業アンケートの結果から、根拠と理由を明確にして、意見を述べさせたり、仲間の意見と自分の意見を比較させたりすることが、生徒の思考力を深めるために有効だと再確認できた。また、ワークシートを工夫することがスムーズな意見の構築や意見交流を促し、主体的に課題解決をしようとする態度につながることも分かった。今後は、「どう考えればいいのか」を適切に示すことで、生徒の活動や思考を活性化させ、より深い学びにつなげていきたい。

<参考文献>

- ・「中学校学習指導要領解説 国語編」文部科学省（2017. 7）
- ・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」文部科学省（2020. 6）